

ふもと

麓 新事務所長 あいさつ

4月1日付で事務所長としてまいりました麓と申します。四国での勤務は初めてとなりますが、安全で安心して暮らすことのできる地域づくり、活力のある地域づくりに少しでもお役に立てるよう、事務所職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、ご指導をよろしくお願い致します。

昨年7月には、前線等による記録的な豪雨により、肱川流域の大洲市や西予市で甚大な被害が発生しました。着任後、被害の状況を目の当たりにし、早急な治水安全度の向上の必要性を痛感しました。このような災害が起こることがないようにこれまで以上に治水事業を推進してまいります。また、災害後に設置された「野村ダム・鹿野川ダムの操作に関わる情報提供等に関する検証等の場」で明らかとなった課題を踏まえ、住民の方々にわかりやすい洪水時の情報提供に取り組んでまいります。

鹿野川ダム改造事業につきましては、皆様のご理解とご協力のおかげで、6月に無事に完成式を終えることができました。これからは、増強されたダムの能力を十分に発揮できるよう、適切に管理してまいります。

山鳥坂ダム建設事業につきましては、昭和57年の予備調査開始からすでに37年が経過し、皆様に多大なるご迷惑をおかけしてきました。この場を借りて深くお詫び申し上げます。現在は、生活再建、地域振興を最優先として、見の越トンネル等の付替道路の工事などを進めているところです。今後は、見の越トンネル工事が本格化することから、工事車両の往来などにより大変ご迷惑をおかけいたしますが、関係者一同、最大限の注意を払って進めて参りますので、引き続きご協力をよろしくお願い致します。

地域の皆様に喜んでもらえるよう、県や流域市町などとも連携を密にしながら事業を進めてまいりたいと考えていますので、これまで以上のご理解とご厚情を賜ることができればありがたく存じます。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。



山鳥坂ダム工事事務所長
麓 博史
(ふもと ひろし)

「ダムだより62号」目次

麓 新事務所長あいさつ／「ダムだより 62号」目次	P 1
小長井 前事務所長あいさつ／令和元年度の主な事業実施予定	P 2
山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定	P 3
鹿野川ダム改造事業 完成式について	P 4
鹿野川ダムトンネル洪水吐は令和元年6月6日より運用開始となりました	P 5
出水期に向けて 鹿野川ダムからのお知らせ ／鹿野川湖湖面利用ルールについて	P 6
ツバキの植樹会について	P 7
「見の越トンネル工事 安全祈願祭」を執り行いました	P 8
山鳥坂ダム工事事務所新職員紹介／転出者紹介	

●●●●●●●●●● 小長井前事務所長あいさつ ●●●●●●●●●●

4月1日付で国土交通省の本省へ異動となりました。3年間の在任期間中、事務所事業の実施に関して皆様に多大なるご協力をいただいたことは申し上げるまでもなく、さまざまな行事、祭事などにも一緒に参加させていただきました。本来ならば直接伺うべきところ大変恐縮ですが、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

昨年7月には、地域に大きな爪痕を残す豪雨災害がありました。我々の使命は、みなさまの安全・安心、地域の発展のために、洪水から地域を守ることであるところ、豪雨災害を重く受け止め、これまで以上に、一刻も早く治水安全度を向上させねばならないと考えております。

平成28年4月に着任して以来、山鳥坂ダム建設事業に関しては、地権者の皆様のご理解、ご協力のおかげで、水没予定地にお住まいの方々全員と契約を結ばせていただくことができました。一方、早急に完成させなければならない付替県道関連工事、さらにその先にあるダム本体工事を見据えると、これからますますの努力が必要な状況です。

鹿野川ダム改造事業につきましては、トンネル洪水吐完成により、従来と比べて1.4倍の量の洪水を貯めることができるようになりました。今後、大雨が降った際に、より多くの水を貯め、流域における洪水被害の回避や軽減が期待されます。

地域のご要望に対して充分にお応えできていない中、離任することは大変心残りですが、引き続き麓新所長のもと職員が一丸となって取り組んで参る姿勢は変わらないものと確信しておりますので、今後より一層のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今回の異動で事務所職員の半分弱が入れ替わりました。一人でも多くの職員が山鳥坂ダム工事事務所で経験を積み、そして経験を積んだ職員が四国全域でさらなる研鑽を重ね、再び肱川流域に戻ってきて力を発揮することにより、肱川流域の安全・安心や地域の利便性、活力の向上につながる取組みの持続、さらなる強化を図ってまいりたいと考えております。新たに着任した職員の経験不足などによりご迷惑をおかけする場面もあるかもしれません。何とぞご理解いただきますとともに、皆様からの温かくかつ厳しいご指導を賜りますようお願い申し上げます。離任の挨拶とさせていただきます。みなさまのご健勝と地域の発展を心から祈念申し上げます。本当にありがとうございました。



前事務所長
小長井 彰祐
(こながい あきひろ)

令和元年度の主な事業実施予定

山鳥坂ダム建設事業関連

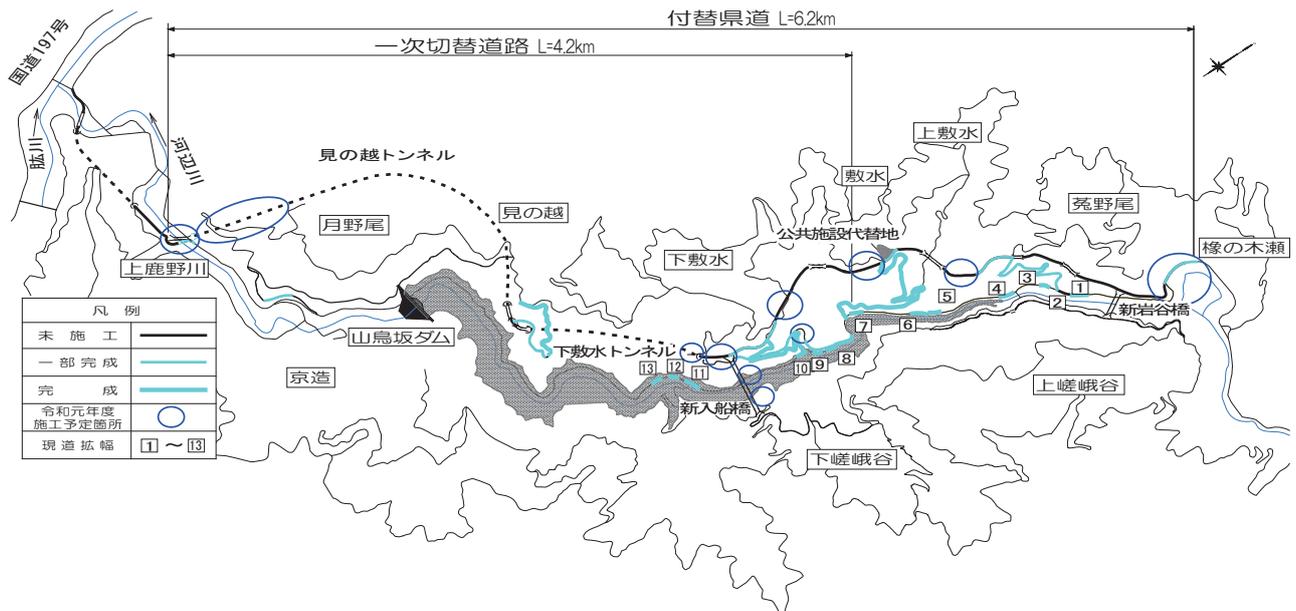
引き続き、水没予定地等関係者の皆様の生活再建、地域振興を最優先に、用地補償、付替道路工事等を進めていきます。また、ダム本体、付替道路関連の測量設計、地質調査等も行います。

項目	主な実施予定内容
用地	湛水地、付替道路にかかる用地取得 等
工事	付替道路工事・工事用道路・現道拡幅工事・トンネル工事 等
業務	水理水文観測、地下水調査、環境調査（動物、植物等）、地質調査、道路設計、用地調査 等

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において、県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工事用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下記平面図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の実施にあたり、土砂を運搬するダンプトラック等の通行が多くなっており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障が生じないように努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



工事実施状況

付替県道の
新設工事
(仮橋架設等)
＜上鹿野川地区＞



平成 28 年 11 月時点



令和元年 5 月時点

工事用道路の
新設工事
＜見の越地区＞



平成 28 年 8 月時点



令和元年 5 月時点

鹿野川ダム改造事業 完成式について

鹿野川ダムは、平成 18 年に愛媛県から国土交通省に管理移管し、治水容量を増加させる改造事業に着手しました。平成 23 年にクレストゲートの改良工事が完成し、平成 26 年には曝気循環装置が完成、平成 28 年に選択取水設備が完成しました。トンネル洪水吐については、平成 22 年に関連工事に着手し、平成 23 年にはトンネル本体工事に着手、本年 6 月に完成し、6 月 9 日（日）大洲市肱川町「風の博物館」にて、四国地方整備局主催による完成式を執り行いました。

式典の最初に、平成 30 年 7 月豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、参加者全員による黙祷を行いました。

式典には、国会議員、愛媛県副知事、大洲市長、西予市長、内子町長、水管理・国土保全局治水課長、地元関係者など約 200 名が参加し、工藤彰三国土交通大臣政務官による式辞、引き続き国会議員、愛媛県知事（代理：副知事）、肱川流域総合整備推進協議会会長（大洲市長）による祝辞をいただき、山鳥坂ダム工事事務所長より事業概要説明、肱川小学校の児童のみなさんと一緒に「くす玉開披」を行い、安楽寺陣太鼓保存会の皆様による歴史ある和太鼓の演奏にて最後を飾っていただきました。



黙祷



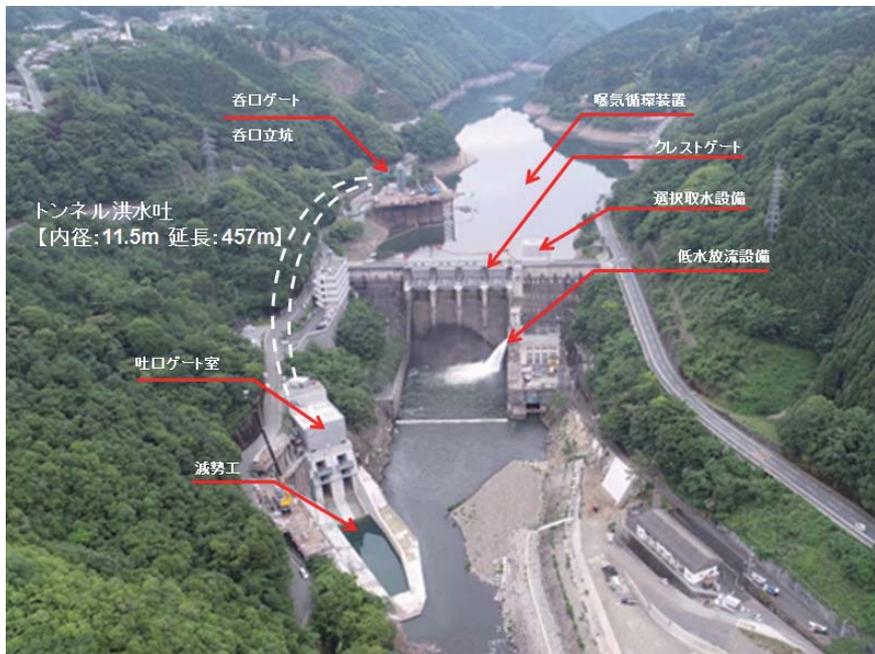
工藤国土交通大臣政務官（式辞）



くす玉開披



安楽寺陣太鼓



呑口イメージ



トンネル洪水吐が完成したことにより、従来より約 1.4 倍の洪水調節容量を確保することが可能になり、治水機能が增强されました。また、増加した洪水調節容量を活用し、野村ダムではより大規模洪水で、鹿野川ダムでは中規模洪水及びより大規模洪水で効果を発揮する操作規則に変更しました。

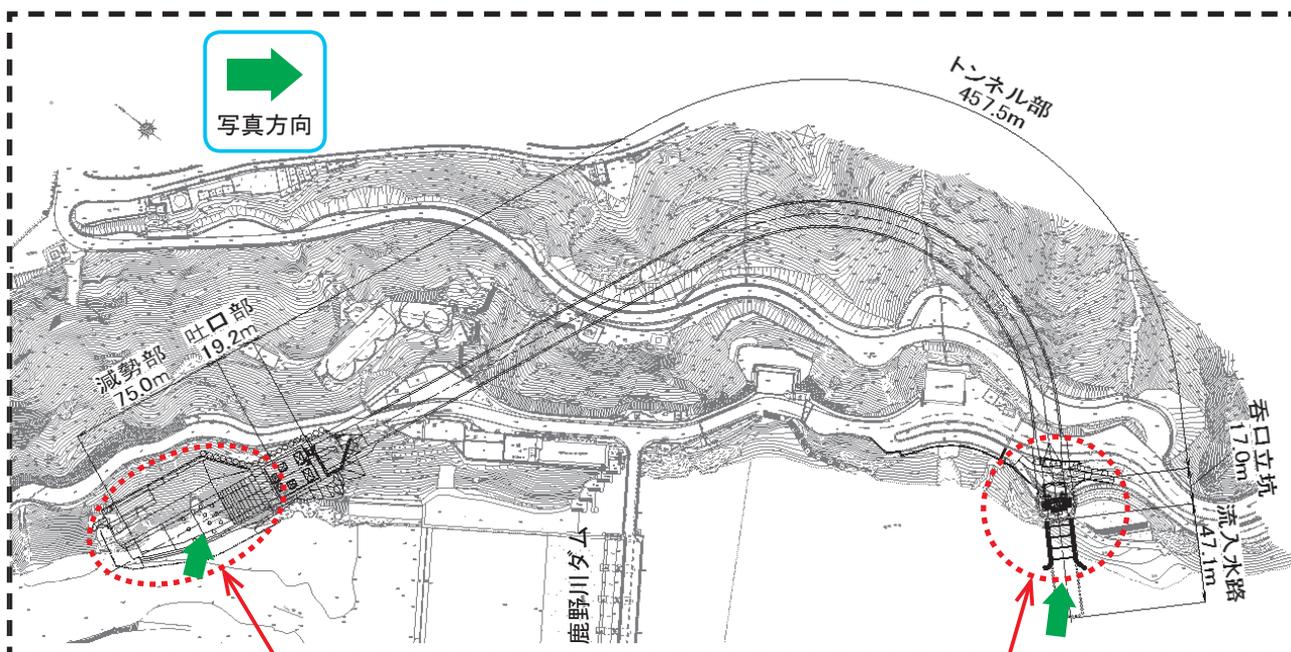
これからも、肱川流域の安全・安心を確保するため、流域内の国・県・市等の関係機関と連携を図り、河川・ダムが一体となった治水対策を進めてまいりたいと思います。

鹿野川ダムトンネル洪水吐は令和元年6月6日より運用開始となりました。

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境（水質・水量）の改善を目的とした鹿野川ダム改造事業は、令和元年6月に完成しました。それに伴い、鹿野川ダムトンネル洪水吐は令和元年6月6日より新操作規則を適用しての運用開始となりました。

平成18年4月に鹿野川ダムを愛媛県から国土交通省に管理移管後、鹿野川ダム改造事業に着手し、平成23年3月にクレストゲート改良完成、平成26年11月に低水放流設備完成、平成28年11月に選択取水設備完成、令和元年6月にトンネル洪水吐が完成となりました。今まで長い間事業にご協力を頂いた地域の皆様方、関係者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。今回の運用開始により洪水を貯め始める水位を今より4.7m下げ、ダムに貯められる洪水の容量を約1.4倍に増やすことにより、下流の洪水被害を軽減することができます。

なお、運用開始後もトンネル洪水吐の維持・点検のために作業構台の一部を残しており、今後順次撤去して参りますがその際には騒音などでご迷惑をおかけするかもしれません。工事現場周辺においては、今後とも一般交通の安全など十分配慮して参りますので、何卒ご理解を頂きますよう、よろしくお願いいたします。



令和元年6月時点

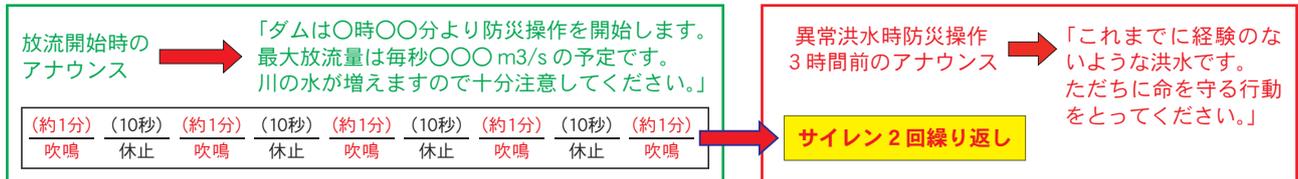


令和元年6月時点

出水期に向けて 鹿野川ダムからののお知らせ

鹿野川ダムでは、大雨が降った場合に普段より多い量の水を放流します。ダムから放流を行う時には、放流の1時間前に川沿いの警報所から放送とサイレンにより河川利用者へ放流のお知らせをしています。予期せぬ降雨などの場合、警報が夜間・早朝になることもあり、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、平成30年7月豪雨のように異常洪水時防災操作となる場合は、異常洪水時防災操作の3時間前と1時間前に警報所から放送とサイレン（2回）を行います。



※鹿野川ダムの貯水位、流入量、放流量、雨量などの情報は以下から入手可能となっています。

【パソコン・スマートフォンによる方法】

<http://www.river.go.jp> (国土交通省川の防災情報) へアクセス

【携帯電話による方法】

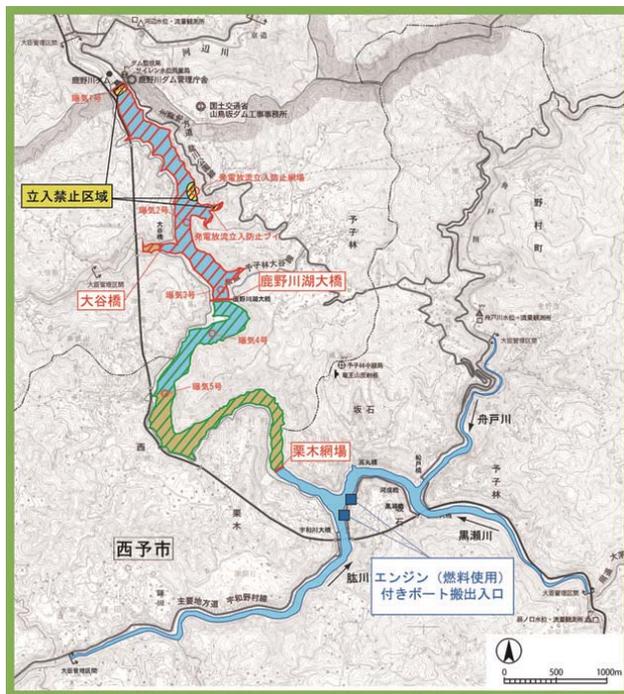
<http://i.river.go.jp> (国土交通省川の防災情報) へアクセス

【電話による方法】

0893-34-2891 へ電話



鹿野川湖湖面利用ルールについて



鹿野川湖では、平成27年4月から湖面利用ルールの運用を開始し、みなさまの節度ある利用のおかげで適切な湖面利用が図られているところです。

鹿野川湖湖面利用ルールの理解を深めるためのポイントをご紹介します。

鹿野川湖湖面利用ルールのポイント

- 一人一人に入湖証を発行
ボートなどで湖面に入る方は全員入湖証が必要です。
- 入湖証は毎年度更新
入湖証の有効期限は3月31日までのため、毎年度、申請が必要です。
- 利用区域の制限
エンジン付きボートの利用の制限や、9月20日から翌年4月10日まではオシドリ保護区域を設けています(左図参照)。

これからも、鹿野川湖の周辺住民に対する配慮も忘れずに湖面利用をお願いいたします。

○詳細は山鳥坂ダム工事事務所HPにアクセスしてください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/yamatosa/info/komen-rule.html>

メールで簡単に申請・受領できます!

- 【凡例】
- :【通年】エンジン(燃料使用)付きボートの利用不可(ダム堤体～鹿野川湖大橋)
 - :【6月1日～翌年5月31日】エンジン付きボートの利用不可(鹿野川湖大橋～栗木網場)
 - :【9月20日～翌年4月10日】オシドリ保護区域(大谷橋より上流の支川、磁気5号～栗木網場)
 - :立入禁止区域(ダム網場～堰堤、発電放流立入防止網場、発電放流立入防止パイ)

エンジン(燃料使用)付きボートの利用範囲

ツバキの植樹会について

平成31年3月2日(土)にダムサイト右岸側の遊歩道付近で地元肱川中学校の生徒6名と地域住民の方々、総勢30名でツバキの苗木20本の植樹を行いました。

講師の愛媛大学江崎先生の指導を受けた後、参加者みんなで力を合わせ、穴を掘り、苗木を植え付け、保水力抜群のクラゲチップと栄養分抜群のダム湖に貯まった土を入れ、苗木が倒れないよう支えの竹にしばりつけ、最後に大きく育つことを願いながら水をやって完了です。

植樹が終わった後は、巡視船に乗ってオシドリなどの野鳥を観察したり、大きな橋を下から眺めたり鹿野川ダム改造事業の見学をして、ダムについてたくさん学びました。

今回植樹したツバキは3年後には花を付けるようになるので、高校に進学した生徒たちが高校を卒業するときに自分たちが植えたツバキの花を見てもらえればと思います。



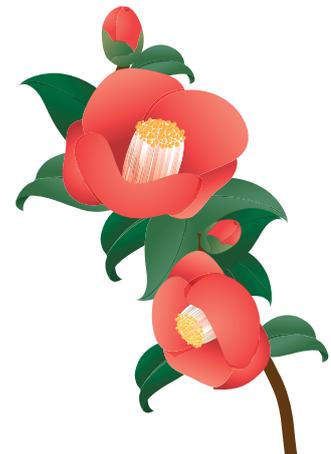
ツバキ植樹会に参加したメンバー



江崎先生の植樹指導



支えの竹を打ち付けます



ダム湖に貯まった土を入れます



巡視船でダムを巡視



苗木を竹にしばり付けます



鹿野川湖大橋とパチリ!

「見の越トンネル工事 安全祈願祭」を執り行いました

6月5日（水）、五洋建設株主催による、見の越トンネル工事の安全祈願祭を執り行いました。本格的なトンネル掘削の着手に際して、五洋建設（株）や協力業者、発注者、地元の区長さんなど約40名が出席し、トンネル坑口で神事をとりおこない、無事故・無災害での工事完成を祈願しました。



トンネル工事に伴う掘削残土の搬出など、工事車両の通行台数が多くなります。地元車両の通行を最優先として、地域住民の生活への支障を極力減らすよう努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

五洋建設（株） 現場代理人 しもえ まさのり
下江 昌稔

付替県道の早期開通を目指して、作業員一丸となってがんばります。工事中は、地域の皆様のご負担を減らすよう対応してまいりますので、ご協力をお願いします。

